

容器文化ミュージアム（東京都品川区） 「なんか、ちがう。キモチをつなぐパッケージデザイン展」を開催 －パッケージを通じて、ひとりひとりの価値観のちがいを探る－

東洋製罐グループが運営する容器文化ミュージアム（住所：東京都品川区東五反田 2-18-1 大崎フォレストビルディング 1階）は、2025年1月20日（月）～3月7日（金）に「なんか、ちがう。キモチをつなぐパッケージデザイン展」を開催します。

わたしたちのすぐそばに、なにげなく存在しているパッケージ。商品名やイメージを伝えるのはもちろんですが、「言葉にできないけど、なんか可愛いよね」など、ひと目で心をグッと掴んだり、コミュニケーションを生んだりすることも、パッケージが持つとても大切な役割です。本企画展は「なんか、ちがう。」をキーワードに、「人の心を動かすパッケージデザインの役割」を伝えることをテーマとし、ひとりひとりの価値観のちがいを探る参加型の企画展です。前回、2019年冬に開催し、ご好評いただいた「なんか、ちがう。パッケージデザインのやくわり展」の第2弾となります。



【企画展 概要】

容器文化ミュージアム 第21回容器の小さな企画展「なんか、ちがう。キモチをつなぐパッケージデザイン展」

開催日：2025年1月20日（月）～3月7日（金） ※土・日・祝は休館となります

開催時間：午前9時～午後7時 ※企画展開催期間中は、開館時間を通常より2時間延長します

入場料：無料

※詳細はチラシをご覧ください。

https://www.tskg-hd.com/news/news_file/file/20250114_newsrelease01.pdf

【東洋製罐グループホールディングス デザインセンター コメント】

展示しているパッケージは「キムチならあんなカタチ」、「ガラスびんならこんな中身」など、これまでの経験から自然に思い浮かべるイメージを崩すようなものばかり。そんな違和感のある組み合わせに触れることで、「こんな使い方は新しい」、「いやいや、これはダメでしょ」・・・なんて、思わず誰かに伝えたいくなるような自分のキモチや、みんなとのちがいを楽しんでみてください。見て触って感じられるパッケージだからこそ体感できる「ちがい」によって、人と人をつなぐパッケージデザインの魅力を感じていただければ幸いです。ご来場いただいた方には「なんか、ちがう展」オリジナル缶バッジをプレゼントいたします。皆様のご来場をお待ちしております！

容器文化ミュージアムについて

容器文化ミュージアムは、容器包装の中に隠れている様々な秘密を「ひらく」施設です。容器包装が生み出した文化情報を発信し、地域住民をはじめとする広く一般の人々に、容器に理解と親しみを持っていただくことを目的とした施設で、文明の誕生と容器の関わりから、最新の容器包装まで、その歴史や技術、工夫を展示しています。



住所：東京都品川区東五反田 2-18-1
大崎フォレストビルディング 1 階

<https://package-museum.jp/>

東洋製罐グループについて

東洋製罐グループは、金属・プラスチック・紙・ガラス等、それぞれの素材が持つ特性を活かした様々な容器をグローバルに提供する総合包装容器メーカーです。包装容器事業のほか、エンジニアリング・充填・物流事業、鋼板関連事業、機能材料関連事業、不動産関連事業の 5 つの事業を有しています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050 年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を 2021 年 5 月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進していきます。

1917 年に創立し、国内 45 社（東洋製罐グループホールディングス含む）、海外 50 社のグループ会社を擁し、約 20,000 人の従業員が働いています。2024 年 3 月期の連結売上高は 9,506 億円です。

<https://www.tskg-hd.com/>

■お問い合わせ先

東洋製罐グループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・高荷・柿本・高田

TEL：03-4514-2026 Mail：tskg_contact@tskg-hd.com

以上